

■原稿作成

1. 原稿の構成

冒頭に<論文><研究ノート><資料>など原稿の種類を明記。その後論文タイトル、著者名（所属職位等の付加は不要です）、和文要約（600字）、和文キーワード（5個以内）、本文と記述してください。

例：<論文>

タイトルー副題ー

氏名

要約

キーワード

本文

別紙1のページ仕様（PDFファイル）を参照してください。

なお、研究会報告書は別な仕様になりますので別紙2を参照してください。

2. 原稿は横書きで、Word あるいは一太郎で原則 40 字×40 行でに設定し、作成してください。図、表などは Excel 等で別建てで作成してください。参考文献や脚注などの文字を小さくする必要は特にありません。原稿を入れた CD-ROM（FD も可）あるいはメールで原稿ファイルを提出してください。特別に要望がある場合はプリントアウトしたものにその旨を記入し、ファイルと一緒に提出してください。

3. 原稿枚数には、本文・図・表・文献リスト・脚注等の総てが含まれますので、枚数計算の際にはご注意ください。

4. 章・節・項のナンバリングは、原則

章＝ⅠⅡⅢ、節＝1. 2. 3.、項＝1.1 1.2 1.3 あるいは (1) (2) (3) としてください。

5. 句読点

文章の句読点は（.）や（、）でなく（。）と（，）を使用してください。数式や引用欧文等の後に使用するときには（.）とします。見出し・小見出しの後には、句読点は付けないでください。

6. イタリックは原稿作成時にイタリックで入力してください。

7. 本文中に少し小さい文字を用いたいときは赤字で指定してください。

8. 数式がはいる論文は必ず提出前に（締め切り1カ月前）担当者にお知らせください。

9. 外国の機関名で通常日本語表記が用いられている場合は、日本語で書き、カッコ内に英語および略称を入れてください。ただし、一般的な日本語表記がない場合は英語表記とし、略称のある場合はカッコ内に示す。2度目以降は略称のみの表記してください。

<例> 日本語表記があるときは農業開発公社 (Agriculture Development Board : ADB)。日本語表記がないときは Agriculture Development Board (ADB)。2度目以降の表記「農業開発公社」あるいは ADB。

10. 図・表

図や表は必ず本文原稿とは別紙に打ち出す形にし、原稿の本文・参考文献の後にまとめてください。図・表にはそれぞれ通し番号を付け、題をつけてください。

<例>表 1...、図 1...

出展がある場合は、図・表の下に明記してください。注意書きがある場合は出展の下に入れてください。

<例>出展：...

注 1)...

11. 脚注

本文に付ける脚注は上付、片カッコとしてください。脚注番号は章ごとに分けて、通し番号とします。

9. 引用文献

本文中に他の文献から引用した場合、当該箇所の末尾に、引用文献の著者名と刊行年、頁を表記し、参考文献に列記してください。(あるいは脚注に)

例：(豊田 (2001b) , pp. 12-15) または...¹⁾。脚注とする

10. 参考文献

順番はアルファベット順か五十音順にしてください。

<記述例>

単行本 日本語文献 田原奈津子 (1998) 『イタリア経済の展開』 日本経済評論社。

石沢芳郎 (2003) 「ブッシュ政権の再選」『産経研シリーズ』No. 69, 産経研協会。

外国語文献 Sukardi Rinakit (1998) *The Indonesian Military after the New Order*, Copenhagen : NIAS.

単行本所収論文 日本語文献 外山謙一 (1997) 「管理システムの現状と課題」 川口 雅編『現代経済システム』福岡大学出版会。

外国語文献 Marciano, A. (2004) “The Historical and Philosophical Foundations of New Political Economy” , *The Elgar Companion to Economics and Philosophy*, Davis, J. B., et. al., eds., Cheltenham : Edward Elgar.

雑誌論文 日本語文献 青木昌彦 (2003) 「比較制度分析の可能性—転換期に來た日本経済をどう考えるか」『経済セミナー』 No. 580, pp. 34-48。

外国語文献 Elliott, G. (1999) “Efficient Tests for a Unit Root When the Initial Observation is Drawn from its Unconditional Distribution”, *International Economic Review*, Vol. 40, pp. 767-783.

¹⁾ 豊田 (2001a) , pp. 55-70。

学位論文 日本語文献 高橋一郎 (2004) 「金融市場における投資家行動」 博士学位論文 (北海道大学)。

外国語文献 Fraser, N. (2004) “Stable International Environmental Agreements”, Doctor Thesis, Hokkaido University.

新聞等 日本語 毎日新聞, 2005.6.8 付朝刊。

霧多布湿原ナショナルトラスト (<http://www.kiritappu.or.jp/index.html>)

外国語 New York Times, Sept. 20, 1999.

■校正

1. 執筆者の校正は 2 校までです。投稿が遅れたり、修正箇所が多くないようにしてください。
2. 校正には朱筆を使い、校正記号は一般的なものを使用してください。
3. 校正によって文字の増減の生じるときは、最小の範囲で調整するようにし、行の増減は極力避けてください。脚注箇所も同様です。